



那覇市議会議員 新垣 淑豊

Take Free

Vol. 4
2018 Dec

TaN Think
Talk
about
Naha

TANとはThink About Naha、Talk About Naha（那覇について考えよう・話し合おう!）「接点」という意味のTangent（タンジェント）から名をつけました。市民と市民そして市民と議会や那覇市が繋がるような情報をお伝えしたいと思いを込めて発行する議会報告紙です。多くの皆様に目を通していただき、ご意見をいただければ幸いです。

YOSHITOYO's
Questions
よしとよの議会報告



議会で取り上げた質問について「なぜ?」その問題を取り上げたか「どのように」那覇市が考えているかなどをお伝えしていきます。

一般質問

「なは土産龍柱会議」ってお土産のことご存知でしょうか?



なは土産龍柱会議

平成29年度に土産物の開発・流通の補助金を出した事業の経過について確認をしました。

那覇の地域資源を活用した土産の開発費、テストマーケティングの支援。

過去の議事録を見ると若狭の龍柱活用もあったようです。「なは土産龍柱会議」という題目で1300万円の予算を投じ、2月にお披露目をしました。キャラクターを

つくり、活用し22品の商品開発を行い、約半年間で売上が990万ほど。その後4品目が終売となっています。市内・県内での製造が脆弱ということで製造地の条件（那覇市内で作ってる）もなく、那覇土産として適切なのか疑問です。市に対しての効果を考える必要があると思いますが、皆様はどう思われますか?

一般質問

那覇は金持ちかい? 55億の一括交付金は他の市町村へ・・・

一括交付金の那覇市への初めの配分金額と実際に使ったお金の差額と市長の沖縄担当大臣への訪問について確認をしました。

城間市長が就任してから4年、約150億の配分がありました。那覇市で使いきることができず、他の市町村が代わりに使った金額が55億円余り! 県全体で適切に使ったと言われましたが、那覇市のために使えたお金です。

市長へなぜこのような計画を見逃したかと再質

問したところ、「見逃したという言葉は、私に対して不適切だというふうに考える」と言われましたが、その後、担当部長からは「このような差額が出たことに対する指摘は甘んじて受ける」という回答をいただきました。

8月に予算の確保要請をしていますが、「那覇市は配分額を使い切れなかったのでは?」と言われかねません。だからこそ計画的に市民のために使う必要があります。

一括交付金の確保・子どもの貧困対策支援への要請をしたようですが、どのような事業にいくら必要だという資料を示し具体的な数字の要請ではなかったようです。それでは相手方も対応が難しいと感じました。



日銀那覇支店にて40億円のサンプル

一般質問

この4年間最大の政治課題・・・それ、総務部長が答えること??

市長は風格ある県都、さらなる高みを目指すとして述べていますが、その具体的な内容と達成のための計画と実行について確認しました。



那覇市役所4階が会議場です!

以下市長答弁の要約
～琉球王国の王都として国際交流拠点の役割を持ち、今は日本の南の玄関口として政治・経済・文化・教育・行政の中心地である中核市だからこそフロントランナーとし

てやリーダーシップを発揮することが求められる。豊かさやゆとり、美しさの感じられる平和で豊かなまちづくりに取り組む思いを風格ある県都として表し、その理想に向けてまちづくりに取り組む市長としての決意である。

その達成はソフト・ハードの2つの側面から考える必要がある。ソフト面は協働によるまちづくりに理解をいただき効果が上がっている。

ハード面は経済活性、産業振興、都市基盤整備充実などが挙げられ、一つひとつが発展し、振興を図ることで、3年後の市政100周年を迎え、次の100年への新たな礎を築き協働の風格ある県都那覇の発展に邁進する。以上

「市長の4年間、最大の政治課題は?」と再質問しましたところ、総務部長が答えて下さいました(驚)市長に答えていただきなかったものです。。。

また、重要案件の保育の待機児童問題は保育園団体、第一牧志公設市場の移転でも店子組合と話す機会が少ないという声があることから、前市長のゴミ処理場問題で現場や話し合いに対して年間90回以上足を運んだ実績を述べ、リーダーとしての行動や存在意義について意見をお伝えしました。

一般質問

公園の草やトイレって気になってませんか?

市内の公園の維持管理について聞いてみました。

那覇市管理の公園は173ヶ所(草刈りやトイレ掃除は那覇市シルバー人材センターに業務委託をしています。その予算は約1億6700万円です。

この値段が高いか安いかわかりませんが、市民の皆様から草刈りをもっとやってくれ、トイレ

をキレイにしてほしいという要望がかなり上がります。現在はシルバーさん以外にも、自治会や企業ボランティアにもお願いはしていますが、なかなか厳しいようです。市内各所の遊具やあずま屋も黄黒のロープが張られています。管理と整備の予算確保をしていただき、市民の憩いの場を整えてほしいと要望をしました。



草におおわれた通路 安岡ガジュマル公園

保健師が足りない! ～地域包括支援センターの人員について～



那覇市包括支援センター 繁多川

地域包括支援センター(以降、包括)では保健師と社会福祉士、主任介護支援専門員、ケアプランナーの配置が必要です。その確保状況を確認しました。那覇市は本年度から包括が6ヶ所増えて18です。そのうち2ヶ所に保健師が未配置。運営者からはベテランの看護師でもOKにしてほしいとの要望が以前からあります。保健師の需要は高く、なかなか採用できないと聞かま

す。さらに担当地域がせばまり、深い支援が必要などころにも手を差し伸べることができるようになりました。独居高齢者の多い那覇市では包括の存在感は増す一方、職員定着のためにも独自支援が必要。5年間の委託だが、賃金の動きを確認しながら委託料の増額や、配置基準の緩和をすべき。市が地域保健の講習を行うことで要件の緩和は可能ではないかと伝えました。

那覇市は自治会についてどう思ってるんだ?

自治会に入るメリットは?そして、以前の質問で市職員の自治会加入の確認アンケートを提案しましたので、進捗を聞いてみました。

自治会は個人ではできない地域課題を自治会で取り組み解決する、とありました。が、加入率は16.7%!確かに集合住宅のオートロックなどで勧誘が難しい!市職員の参加も少ないという話も聞くとのこと、市長

自ら市民や市職員にPRできる自治会活動について再質問しました。少々かみ合わない答えでしたが、職員への呼びかけの必要はあるとの認識は共有されていたので、年度内に地域活動についてのアンケートを取って集計すること。その結果を見た上で再度質問してみようと思います。



自治会へ入ろう!の横断幕

提案したはいいいけど、どうなってるんだスクールゾーン?



見かけたら注意!スクールゾーン標識

城西小PTA副会長のときにスクールゾーン委員会に関わりました。城西小区は市内でも要望事項や提案が多いのです。返答がなかなか返ってこないこともあり、対応について聞いてみました。

通学路安全対策会議で警察や県からも担当が参加して様々な話を聞いてくれます。しかし、保護者の皆さんには「何ができて、何ができない、理由は・・・」と伝えることが

難しい上に、時間が経つと提案したことも忘れてしまいます。結果を早くウェブで公表して欲しいと提案しました。那覇市はスクールゾーン連絡協議会の事務局なので、ウェブ掲載を協議会へ提案することになりました。実現すると保護者の皆さんもできること、できないことがわかり提案もしやすくなると思います。

保育士がいない! どうしましょう?

保育士さんから「家庭で家族と過ごすことは子どもたちの情緒の安定と親子の信頼感の形成につながる」という話を伺いました。平成28年2月に那覇市より保護者に対し、土曜日にお仕事が休みの方はできるだけ家庭での保育をお願いしたいとお手紙を出しました。保育園の現状として保育士不足、そして研修時間確保が難しいということもあり、保育士さんたちの労働環境と技能知識の向上にも関わることから、園長会より市に対して改めてそのようなお願いを保護者へ向けての依頼要望がありました。対応を聞いてみました。今回の答弁で、状況の詳細を確認して協力依頼を実

施となりました。ただし、土曜日にお勤めの方々には安心してお子さんをお預けいただける環境整備をしていきます。そして市内保育園では500名以上の定員割れがある一方、100名以上の待機児童がいる、原因は保育士不足。新たな保育園の創設もあるためにさらなる保育士の取り合いがされるだろうと見込まれます。有資格の潜在保育士が多くいると言われていますが、様々な国の補助メニューの活用で保育士確保に取り組み、子育てしやすい環境を作ることが大切だとお伝えをしました。



保育園のうんどうかいに出場

市議会議員のお仕事とは?

以前、市議会は年4回の定例会と必要な時に行われる臨時会があるとお伝えしましたが、今回も議会が無い時にはどのような事をしているかを少しお話させていただきます。

「市議会議員って普段は何をやってんの?」とよく聞かれます。議会や視察の無い日は家でゆっくり…なんてことはありません。地域の行事に参加したり、地域の方々からの生活に関わる課題問題解決についてご相談や現場確認(例えば道路の不備や、放置自転車、騒音にいてetc.)に伺います。そのお話から担当課への要請や依頼、そして議会の質問や条例の制定に繋がることも多く、地域を歩くことが議員の仕事の核をなすものだと考えています。

自治会の役員や民生委員をはじめとする地域住民とのお話の中には地域にとって大きな課題や問題も多いのですが、市や県のどの部署へ行ったら良いのかわからないので相談しづらいと言われる。特に那覇市は中核市ということもあり、県からも様々な権限を移譲されています。そのために範囲が広く担当の横断もあることから、アチラコチラへ話を振られてしまうことも…そんなときには、市議会議員にお話をさせていただければと思います。どの部署が何をしているのかを把握し、つなげていくことが市民の困りごとを早急に解決するために

重要となりますので、普段から市役所内で各課職員からレクチャーをしていただきます。市民生活をより良くしていくためには、日頃から市民や市役所職員との対話をしていくことがとても大切です。どうか私達的那覇市を少しでも住みよいまちにするために、市議会議員を活用していただければ幸いです。



市内めぐり、のうれんプラザにて休憩中